

堺のヒト・モノ・世界をつなぐ

# 堺IPC

SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER  
www.sakai-ipc.jp

PRESS



●特集

## 理念を経営に活かす！

株式会社テクノタイヨ / 株式会社オム印刷 / トーシンケミテック株式会社

●モノダン×モノジョ……………8

「女性ならではの繊細さで、高度な特殊溶接を担う。」

有限会社浦上特殊工業 磯野美帆さん

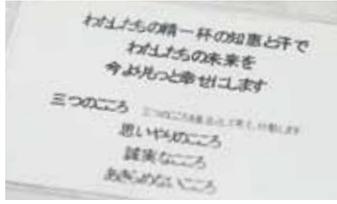
●さかいモノ語り……………11

「道具好きの男心をつかんだ逸品」

フィッシュユグリップ・タグ

2014.7  
VOL.

# 32



# case 01

## 発想を形にする 開発力が強み

簡単なスケッチに描かれたようなアイデアをも、素材や加工法、生産プロセス、コストまでの具体的な形で提案できるのが強み。同社の自社製品であるオイルダンパーが採用された制振装置は、免震装置の約10分の1のコストで設置できることから注目され、引合いも増えている。

# 経営理念づくりで原点回帰。

株式会社テクノタイヨー 水野敏雄社長

その企業がどういった理念、主張を持っているのか、またどのような行動基準に基づいて経営を行っているのか、それを明文化し、内外に表明したものが社是であり、経営理念です。それらが日々の企業活動に反映されていなければ意味はありません。今回は、社是や経営理念を「絵に描いた餅」にせず、経営に活かされている3社を取材しました。

### 創業30年の節目に 経営理念と社是を表明

「わたしたちの精一杯の知恵と汗でわたしたちの未来を今よりもっと幸せにします」。テクノタイヨーの経営理念は、2年前にまとめられたばかりです。そのきっかけについて、水野敏雄社長は「私自身が堺市産業振興センターのものづくり経営大学を受講し、経営理念の必要性、重要性は認識していました。一昨年、創業30周年を迎えるにあたって、あらためて経営理念を定めようと思い立ちました。創業者の父らと半年間、毎月会合を持ち、キーワード出しから始まって、草案は最終まで4案重ねました。できあがれば結局、当社が創業当時から持っていた価値観そのものでしたね」と語っています。そして、改めて明文化する過程の

中で得られたものがあつたと水野社長。「どういう思いで創業したのか、この会社は何のためにあるのか、といったことをあらためて聞いたり考えたりすることで、今までは自分が事業を引き継ぐのに精一杯だったのが、『これから後に引き継ぐこと』を意識しました。企業の存続の大切さについて、思いを強くしたのです」。

## 経営者と従業員の方向性と 価値観のベクトル合わせに

経営理念と同時に掲げられた社是は「思いやりのこころ」「誠実なこころ」「あきらめないこころ」の「三つのこころ」です。「経営理念や社是を作るときに大切にしたのは、『言葉』とでもいうのでしょうか、従業員の心に響く共感できる言葉でした」と水野社長。

経営理念と社是は毎日の朝礼で唱和されるほか、全員の名札の裏に明記されています。さらに年に2回、「三つのこころ」を日々の中で実践している従業員を投票で選び、表彰を行っています。しかし、それですぐに経営理念や社是が社内に浸透するとは、水野社長も思っていない。「経営理念などは押し付けるのではなく、10年20年とかけて熟成させるうちに当社の風土になればいいと考えています。思いがけなかったの

は、経営理念とともに経営計画を発表した時に、会社の方針に賛同できないと辞めたベテラン社員がいたのですが、残った社員の、特に若手技術者たちがその穴埋めに発奮してくれました。また、求人面接の時にも経営理念や経営計画を丁寧に説明するので、当社の考えを理解してくれる人材を採用できるようになり、経営者と従業員の方向性や価値観を合わせるのに経営理念や社是が役立つように思います」。

## 経営理念の実現をめざして 目標は5年後に売上を倍に

創業当時、自動省力化機械などを開発する機械メーカーだったというテクノタイヨー。空いている設備を活用して請け負い始めた部品づくりの手離れの良さや量産効果から、やがて設計・開発から製造までを担う部品メーカーへ移行しています。

「開発力を強みとしてきましたが、やはり近年は価格競争も厳しくなっています。そこで、自社製品を開発すべく、創業時からの設計ノウハウを掘り起こしました」と水野社長。例えば、同社が独自に開発したオイルダンパー。もとはシステムキッチンの吊り戸棚の昇降装置として開発したのですが、現在はその衝撃や振動を制御する機能を活かし、トレー

ニングマシンや木造住宅の制振装置に採用されており、今後ますます用途の広がりが見込まれます。

「経営理念や社是の浸透には、経営者の私自らが行動で示すことだと思っています。その一つとして、経営理念の『わたしたちの未来を今よりもっと幸せに』を実現するため、5年後には売上を現在の2倍以上にしたい。そのためにオイルダンパーの用途開拓に注力するほか、本格的な海外進出を視野に、ベトナムに現地法人を立ち上げました」。

経営理念や社是を、経営の武器として活かされている好例だといえるでしょう。

## 社長自らが率先して、 「三つのこころ」を実践中。

「『三つのこころ』の表彰では、会社に早く来て清掃してくれている社員が投票で選ばれたりして、みんなはよく見ているんだと感心させられます。前回の表彰では、初めてベトナムの従業員が選ばれました。私も製品開発では『あきらめないこころ』を、取引では『誠実なこころ』を自ら実践しているところです」と水野社長。



## 株式会社テクノタイヨー



◀高齢者向けトレーニング機器にも採用された「往復減衰型オイルダンパー」。構造を簡素化することで大幅なコストダウンを実現。

代表者名／代表取締役社長 水野敏雄  
本 社／堺市東区石原町 1-153  
T E L／072-255-9559  
設 立／1983年設立  
資 本 金／1,000万円 従業員数／54名  
事業内容／省力化機械設計・製造、マシニング加工、各種金属の切削加工、組立加工、オイルダンパーの開発・製造など  
<http://www.techno-t.co.jp/>



# case 02

## シール印刷一筋 独自の商品開発も

創業からシール印刷に特化。脱下請けをめざし、社内に企画・デザイン部門を開設したほか、企画デザイン会社「OMP」も設立。結露防止シールや蓄光シールなど、独自に開発したユニークな商品は、展示会などで同社の商品開発力のアピールに一役買っている。



# 「笑っていこや」の精神で復活。

## 株式会社オム印刷 松本恭宣社長

**21年前のつらい出来事から  
生まれた社是が復活の支えに**

オム印刷の社是「笑っていこや」。東京の得意先からは「関西らしくて面白い」と評判らしいですが、この社是の背景には過去のつらい出来事がありました。

「21年前に火災で会社を失ったのです。廃業も覚悟しましたが、4か月後に仮社屋で業務を再開しました。その頃の写真に、社員が談笑している一枚があつたんです。『そやな、つらい時につらい顔をしていても仕方がない。いつか笑えるようにしようや』、その思いが4年後に社是になりました。笑いは細胞を活性化すると言いますしね(笑)」と松本恭宣社長は語っています。

その社是と同時に定められた経営理念は、「私達は、信頼され期待される企業として発展していきます」「私達は、夢の持てる職場で人間力を高めめます」「私達は、お互いが協力しあつて明るく元気な社風を作ります」。

松本社長はこれらの社是や経営理念を実際の経営に反映させようと、毎年、「経営計画書」を作成しており、今年度で18回を数えました。

「経営計画書は、一度はゼロになった会社をどう再建するのか、社員と一緒に頑張っていこうという思いの表れです」(松本社長談)。

## 毎年の経営計画書に 社長も社員全員も目標を明記

ゼロからの再建の中にあつて、「経営計画書」が社員たちを勇気づけ続けただろうと思えるのは、松本社長がそこに掲げた目標を一つずつ、着実に実践してきたことです。

具体的には、まわりから「できるわけがない」と言われた自社ビルの建設や東京進出、そしてISO9001・ISO14001の取得などで、それが社内の従業員たちはもちろん、金融機関などの社外からの大きな信頼につながっています。例えば、自社ビルを建設する際にも、銀行を訪ねる前に向こうから貸付けの申し出を受けたのだとか。

今では、社員全員の個人の目標と行動目標が「経営計画書」に記載されています。「毎月一回、経営理念を唱和していますが、それが社員一人ひとりにきちんと理解され、具体的な行動に結びついていなければと考えるからです」と松本社長。この行動目標はもちろん、書きっぱなしではなく、3か月に1回の部署ごとのミーティングでお互いの進捗状況を報告し合っています。

「社員がどういふ思いで仕事をしているかを知りたかったこともありましたが、あわせて一人ひとりの仕事への意識を高めたとも考えました。」

そのために売上や利益目標はもちろん、実績の数字もオープンにしています。売上を上げてでも外注費にムダがあれば利益は上がらない。社員が自らそれを意識して行動しています」とその効果を話しています。

## 「小グループ化」がつくる 協力し合う社風と自立した人材

同社の組織管理法としてユニークなのは、昨年からの導入を始めた3人1グループの「小グループ化」です。

その狙いについて松本社長は「当社では社員一人ひとりに数値目標を設定せず、グループでの達成を求めています。人にはそれぞれ得意、不得意があり、例えば営業で得意先の新規開拓が苦手な社員もいます。代わりに顧客管理が得意なら、そこで貢献すればいいんじゃないかという考えですね。『一人はみんなのために、みんなは一人のために』。経営理念にある『お互いが協力しあつて』ということです。人材に限りがある中堅企業だからこそその工夫だと思います」と語っています。

3人という少人数グループゆえにフットワークも軽く、気軽に立ち話的にミーティングを開くことができます。人数の多い会議では遠慮して発言しにくい若い社員が、活発に意見を述べることもできるのも大きな

メリットといえるでしょう。

また、作業時間の段取りなどもリーダーを中心に、メンバーが自主的に判断することを認めているとか。これはトップからの指示がなくても、自分たちで考え、行動できる自立した次世代を育成するためなのだと思います。

「私は時代の流れや企業の成長にあわせて経営理念も変わってよい、いや変わるべきなのではないかと考えています」と語る松本社長。来年末に創業30年を迎える節目に、どのようなビジョンを打ち上げるのか、社内外から大きな期待が寄せられています。

## 株式会社オム印刷



▲マウスパッドに下に隠れるカレンダーシールや暗闇でもスイッチの位置がわかる蓄光シールなどのユニークな自社開発製品がある。

代表者名／代表取締役 松本恭宣  
本 社／堺市美原区太井 565-1  
T E L／072-361-0124  
設 立／1985年創業 1990年設立  
資 本 金／1,000万円 従業員数／26名  
事業内容／シール印刷、印刷全般、企画デザイン  
<http://www.om-print.co.jp/>

## 社長から社員へのレターが 毎月の給与袋に。

毎日、全社員と声を交わすように心がけているほか、現金支給している毎月の給与袋には、松本社長が作ったレター「オムタイムス」を封入されているとか。こうしたコミュニケーションの良さからか、社員の定着率が上がったという。





|||||  
c a s e  
03

## 独自の発想が 優位性を確立

独自の発想による開発から製造までの一貫生産体制が強みで、家電業界から医療業界まで幅広い産業領域で同社の技術が活躍。例えば、空気清浄機では、同社が独自の発想で開発、特許を取得したフィルターがある得意先企業のほとんどの製品に使用されている。



# 企業理念は経営者の人生観。

トーシンケミテック株式会社 佐藤 紘三 社長

**下請けにありがちな  
理不尽な要求は拒否**

トーシンケミテックが製造するさまざまなゴムや樹脂の成型品は、炊飯器などの調理家電のゴムパッキンや、冷蔵庫、エアコンの防振ゴム、そして空気清浄機のフィルターなど、直接私たちの目に触れることは少ないものの、身近で役立っているものが大半です。これらが「縁の下力持ち」的存在感を発揮していることは、佐藤社長の言葉からも強く印象づけられました。

「当社のゴム製品は、得意先企業の製品製造原価の3%に満たないものがほとんどです。100%受注生産で、いかに指定納期を守るか、柔軟な対応が求められますが、不当な価格競争や理不尽な要求を押し付けられることもありません。お約束した「QCD」（品質・コスト・納品）は必ず守る代わりに、できない条件は信念を持ってお断りするのが当社の営業方針です」。

同社のその強さが何なのかと問えば、60年近くゴムや樹脂を扱ってきたなかで培った独自のノウハウでした。わかりやすい例えで言えば、輪ゴムとタイヤ、伸縮性も耐久性も全く違うのに原材料は同じ。薬品などの配合一つで、これだけ性質の異なるものになります。実際には、十数種類以上の薬品を配合してゴムに練

り込み、求められる品質特性を持つ製品を作り出しているのだとか。実際に製品化されるまでには、硬さや伸縮性のほか、耐摩耗性、耐油性、耐熱性、復元力など数々のテスト項目があり、それらを求められている基準でクリアするまで何度も試作品を作り、何度もテストを重ねています。そうして認定された新しい配合のスペックがそのまま、同社のノウハウになるというわけです。

得意先には、ゴム素材そのものの品質チェックができないため、同社への高い信頼のもと、取引が成立しているということですが、万一配合ミスがあった場合には、巨額な補償が生じるとあって、品質管理体制を最も重視していると佐藤社長は語っています。

### 経営者の根っこである理念は社員に押し付けない

「あらゆるニーズにお応えできる柔軟性をもって、生産面はもちろん、環境保全など企業責任面においても、常に『あたたかい人間性』を重視し、トータルに未来に寄与していく。トーションケミテックが掲げる企業理念です。

「あたたかい人間性」について、さらに佐藤社長にうかがうと、「従業員が一番大切ということ。当社で働く全ての人が幸せになろうという

思いがこめられています」という言葉が返ってきました。

同社では毎日の朝礼で、「自分の仕事と責任を自覚して、今日もベストを尽くそう!」という合い言葉で唱和。一人ひとりの自覚を深めているのだとか。一方、企業理念は経営者の人生観だと佐藤社長。「企業のトップとして、どう会社を導くべきか、その指針のようなもの。私はトップダウンで、企業理念を社員に押し付けるつもりはありません。経営者としての私の“根っこ”のようなものですね」と語っています。

### ヒューマンライクな発想が企業の成長につながって

同社の企業理念は、確実に日々の経営に生かされています。例えば、「あらゆるニーズにお応えできる」よう、早くも19年前にはタイに進出し、現地の日本企業のものづくりを支えてきました。また、材料メーカーと共同開発したLIM成形は、食品関係や医療用に最適なシリコンゴムの精密成形品に対して、高品質を守りながら優れたコストパフォーマンスを發揮しています。一方で高効率な生産を求め、高速インジェクション成形機を導入。それもこれも、佐藤社長のいう品質責任と供給責任を確実に果たすことを使命としているからです。

「うちで働いて良かったと思ってもらえること、それが何よりです」という佐藤社長。創業以来のヒューマンライクな発想が同社の成長につながってきたことを確信しました。

そこにこめられた思いや背景は三社三様ですが、企業理念は「北極星」のように、会社の進むべき方向を高く指し示すものだと実感しました。北極星は、誰もがどこからでも見ることができます。そこに向けきちんと舵取りできていることが、社内外から大きな信頼を獲得できるのでしょう。経営理念と実際の経営がずれていないか、今一度、見つめ直してみたいかがでしょうか。

## トーションケミテック株式会社



▲わずか数ミリの点滴に使われる輸液セットのバルブやゴムパッキンなどに高い技術が生きている。

代表者名/代表取締役社長 佐藤紘三  
本社/堺市西区築港浜寺西町13-13  
TEL/072-268-0345 (代)  
設立/1956年創業 資本金/5,000万円  
従業員数/55名  
事業内容/天然ゴム、合成ゴム、シリコンゴムなどの成形加工  
<http://www.tim-tc.jp/>



### 「人が大事」という社長の朝は、社員一人ひとりへの声かけから

毎朝、全社員に「おはよう」と声を掛けて回るという佐藤社長。「返ってきた声の調子で、その日の体調などがわかります」。実家に伝わる教え「人を軽く見ない。人に恩を着せない。人を利用しない。人をあてにししない。人を責めない」もいつも社長の心にある。

## Jリーグ「セレッソ大阪」応援カラーも限定販売 今年の注染シャツ



堺市産業振興センターでは、今年も堺注染和晒興業会が「注染」技法を用いて作った、オリジナルの新作シャツの販売を行います。「注染」技法で作られたゆかたは、通気性・吸水性にすぐれ、肌ざわりがやわらかいことから、日本の夏には欠かせないものですが、このシャツは、それと同じ生地を用いて作られています。今年は堺市がホームタウンに追加された、Jリーグ「セレッソ大阪」のチームカラーをイメージしたシャツも限定販売します。今年の夏は、注染シャツを着て、セレッソ大阪を応援しませんか。

・金額 11,000円（税込）販売は観光案内所（堺東・堺駅）、堺伝統産業会館、ショッピングアピールにて

～注染和晒～ 江戸時代の初め（17世紀）に堺市の石津川沿いでは、水や日光といった自然が豊かなこと、綿織物の特産地であった泉州に近いこともあり、ゆかたや手拭いの生地である「和晒」の大産地として発展しました。のちに「注染」という伝統技術と結びつき、堺は「晒」と「染色」を一貫してできる全国でも稀な地域になりました。手染め注染には、表現力の優れた「ぼかし技術」があり、微妙なタッチや奥深さが味わえ、使い込むほどに手染めの風合いがでてくるのが特徴です。

## 堺伝統産業会館のネットショップ イーモール堺がリニューアルオープン



堺市産業振興センターが運営するネットショップ「イーモール堺」をリニューアルオープンしました。堺の伝統産業である刃物、線香、注染、昆布、和菓子、敷物の解説ページを新設し、堺の伝統産品がどのような工程を経て作られているかを歴史とともにわかりやすく解説しています。ご自宅から堺の匠の品々をいつでもご注文いただけます。ご贈答ご進物にもぜひご利用ください。

イーモール堺 <http://www.emallsakai.com/>  
堺伝統産業会館 <http://www.sakaidensan.jp/>

👑 ものを作る、明日を創る。

# モノダン × モノジョ

堺市内で活躍する若手社員「モノダン(ものづくり男子)×モノジョ(ものづくり女子)」を毎号ご紹介します。



## 女性ならではの繊細さで、 高度な特殊溶接を担う。

まるでヒーローものに出てきそうなスタイリッシュなヘルメットの下から現れたのは、小顔の愛らしい女性でした。浦上特殊工業の磯野美帆さんです。父である浦上修二社長のもとで、すでに溶接士として8年のキャリアを積んでいます。

溶接の現場に入ることについては「父と母のいる工場は、小さい頃から慣れ親しんだ場所なので抵抗はなかったですし、いつも清潔で静かだったので危険だとも思いませんでした」と美帆さん。

今では、アルミニウムの特殊溶接のなかでも非常に高度な蒸発器の配管円周溶接を、美帆さんが主に引き受けています。

浦上社長は「繊細さが求められる溶接は、女性に向いていると思っています。娘も手先が器用だったうえに、仕事がとても丁寧。自分の頭でいろいろ考えて工夫しているし、何より高く評価されたいという意識が高いので、職人としての将来も期待しています」と語っています。

未来の浦上特殊工業を担うべく、昨年からご主人の磯野弘典さんも入社。社長が驚くほどのスピードで技術を習得されているとか。「父たちが築いた土台を守りながら、少しずつでも進化していきたい」。浦上社長の溶接への熱い思いはしっかりと美帆さんに受け継がれていました。



### 👤 磯野美帆さん

浦上修二社長の次女として誕生。高校卒業後にカメラマンを志したこともあったが、20歳から浦上社長のもとで溶接の技術を磨いてきた。堺市溶接コンクールにも出場する腕前。「将来、興味のある若い方に、溶接を体験できるワークショップのような場や機会を提供できたらと考えています」と語る。



### 有限会社浦上特殊工業

1981年の創業以来、自動化による量産型ではなく、要求レベルの高い特殊溶接を施す多品種少量生産にこだわってきた浦上社長。得意先企業から高い信頼を得て、高圧ガス保安協会認定品であるアルミフィン蒸発器や熱交換器を主に製造している。

本 社 / 堺市中区辻之 340-1 TEL.072-237-1100

# 「CSR推進企業創出モデル事業」のご案内

企業が社会的責任（corporate social responsibility 略称：CSR）を果たすことで、企業価値の向上や経営基盤の強化につながり、自社の持続的な発展を図ることができます。

平成26年度から、堺市産業振興センターでは、市内中小企業に対して、CSRの専門家を派遣し、取り組みに対する総合的な支援を行います。この事業により他社のモデルとなる導入事例をつくり、その成果を発信することで、市内企業へのCSRの取り組みの浸透を図ります。支援対象企業は、年間2社を予定しています。また、モデル企業の募集を行う前に、CSRとは何か、どう取り組んでいくのか、導入すればどのような効果があるか等を解説するセミナーを開催します。セミナーやモデル事業の詳細については、ホームページをご覧ください。



お問合せ先 公益財団法人堺市産業振興センター経営支援課  
〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 183-5 TEL 072-255-6700 FAX 072-255-1185  
E-MAIL keiei\_shien@sakai-ipc.jp http://www.sakai-ipc.jp/

## 「第3回さかい環境チャレンジ」認定企業のご紹介①

環境ビジネスに参入している堺市内の中小企業を「さかい環境チャレンジ企業」として認定しています。詳細は当センターホームページをご覧ください。認定企業を掲載した冊子は当センターで配布しております。



### 甲陽化成(株)

#### <重金属固定剤>

主な事業内容：工業薬品の開発販売製造

**ポイント** 重金属と化学結合する硫化物法で、飛灰中の有害物質を固定化。再溶出のリスクがなく土壌汚染を防ぐ。

〒590-0983 堺市堺区山本町1-17

TEL 072-227-8201

URL：http://www.koyochem.co.jp



### 大和合成(株)

#### <車載用金属プーリーの樹脂化>

主な事業内容：熱硬化性、熱可塑性樹脂の成形組立加工

**ポイント** 車載用プーリーの樹脂化で大幅な軽量化を実現。車の軽量化・低燃費化に貢献。

〒591-8046 堺市北区東三国ヶ丘町5-1-10

TEL 072-252-1023

URL：http://www.daiwa-pls.co.jp/



### コタニ化学工業(株)

#### <環境・健康配慮型機能性薬剤の製造技術>

主な事業内容：繊維加工用界面活性剤・仕上剤の製造販売

**ポイント** 独自の微粒子化技術で繊維を高機能化。環境に配慮した繊維加工用薬剤を開発。

〒592-8352 堺市西区築港浜寺西町13-14

TEL 072-268-0291

URL：http://www.kotani-chemical.co.jp



### (株)ミツギロン

#### <プラスチック製品の中空成形・押出成形>

主な事業内容：プラスチック製品の企画・製造・販売

**ポイント** 高精度なプラスチック製造技術を背景に、独創的な発想から生まれる省エネ・プラスチック製品。

〒591-8011 堺市北区南花田町212-1

TEL 072-257-7281

URL：http://www.mitsugiron.co.jp



### シャープ化学工業(株)

#### <SKパウチシステム>

主な事業内容：シーリング材・防水剤・接着剤の製造販売

**ポイント** 数々のノウハウを詰め込んでシーリング材容器をコンパクト化。ゴミの大幅減量を可能に。

〒592-8352 堺市西区築港浜寺西町13-12

TEL 072-268-0322

URL：http://www.sharpchem.co.jp/



### (株)アステック入江 セラミックス事業所

#### <セラミックス精密加工>

主な事業内容：セラミックスの研削加工

**ポイント** 大阪で唯一のセラミックス加工専業。最新の研究・開発を支え、環境分野に貢献する高精度セラミックス加工。

〒599-8253 堺市中区深阪2483番

TEL 072-278-7733

URL：http://www.astec-irie.co.jp







さ  
か  
い  
mono  
モノ  
語  
り

## 道具好きの男心をつかんだ逸品

「大切にしたいのは、遊び心」と語る桑名峰之社長が立ち上げた自社ブランド「r.z+GEAR」の製品は、道具好きの男性たちを引き付けてやまない魅力にあふれています。

例えば、釣り上げた魚にさわらず安全に針をはずすためのフィッシュグリップ・タグ。ゲーム性の高いルアーフィッシングなどで、釣った魚をリリースする時に手でさわって魚にダメージを与えないために使われる道具で、以前は大変高価なアメリカ製のものしかなかったのだとか。

魚が暴れても衝撃を吸収するよう先端が若干動く“ダンパー機能”や、先端を開かないように固定する“ロック機構”などの機能を備えながら、価格はアメリカ製の半額以下。さらにスタイリッシュなデザインや大小2種類にバリエーションを増やしたことで、発売から3年で販売数は

10倍になったといいます。「無料でネーム入れしているのも喜ばれていますね。広告を出さないのに、ユーザーさんの口コミで広がりました」と桑名社長。多くの釣りファンに支持されていることは、次々と送られてくるフィッシュグリップにつかまれた釣果の写真が物語っています。



ORIGINAL PRODUCT STYLE  
**r.z+GEAR**  
http://ray-zest.com/

i-phoneケース(上)とオリジナルカラビナ「キャビナグリップRZ-C3」。カラビナの開発には、堺市産業振興センターの「堺発オリジナル商品魅力アップ支援事業」を活用。現業に追われて後回しになりがちな新製品の開発が、外部の専門家が入ることで短期間に実現できたと桑名社長は語っている。

### 株式会社 RAY-ZEST レイ・ゼスト

元大手自動車メーカーの技術者だった桑名社長が、設備ごと会社を買取って堺市の現在地に移転したのは2009年。「小さくてもメーカーに」という志のもと、自社ブランド「r.z+GEAR」を立ち上げました。現在はi-phoneケースも含めた3アイテムを展開。今後は名刺ケースなどラインナップを充実させていく予定だそうです。デザインを担当するのは、桑名社長の小学校の同級生だったという川越保宏さん。「イメージするのは、ガンダムであり、ランボルギーニのカウンタック。自分たちが欲しいものを作っています」という二人の遊び心が、道具好きの男性たちの心をつかんでいるようです。



桑名峰之社長(左)とデザイナーの川越保宏さん

本社／堺市東区石原町4-300 ☎072-287-6270  
URL／http://www.ray-zest.com

### 「堺プロジェクト」から堺オリジナル商品を発信

(株)レイ・ゼストを事務局とする「堺プロジェクト」は、「魅力アップ支援事業」を活用した3社が立ち上げたもので、同事業を活用し自社ブランドを有する企業が共同で販路拡大を図っていくことを狙いとしています。

【堺プロジェクト】  
http://sakai-project.com/

